

聖書ルカ 10：1～12

2018/7/15

「弟子の道」

1. はじめに

- ・この箇所から「弟子」について共に学びたい。範囲としては、24節までですが、9：57～62は弟子志願者の記事が出てきますから、それも参考にしたいと思います。

2. 本文

- ・2節「ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」①
- ・4節「財布も袋も持たず、履き物もはかずに行きなさい。道でだれにもあいさつしてはいけません。」②
- ・5節「どの家に入っても、まず、『この家に平安があるように』と言いなさい。」③
- ・6節「そこに平安の子がいたら、あなたがたの平安は、その人の上にとどまります。」④
- ・7節「その家にとどまり、出される物を食べたり、飲んだりしなさい。」⑤
- ・9節「そして、その町の病人を癒し、彼らに『神の国があなたがたの近くに来ている』と言いなさい。」⑥

- ・10、11、12節：「受け入れないなら、この町のちりさえ、払い落としていく。しかし、神の国が近づいたことは知っておきなさい。」⑦

*この箇所はイエス様のことばだけが記されていますから、弟子たちの反応は分からない。しかし分かることは、彼らは真剣にイエスのことばを聞いていたということです。この前の9：57～62では3人の弟子志願者の記事があります。

*1人目—「あなたがどこに行かれても、私はついて行きます。」イエスは彼に「狐には穴があり、空の鳥には巣があるが、人の子には枕するところもありません。

2人目—「わたしに従って来なさい。」「その人は、まず父を葬らせてください。」「イエスは神の国を言い広めなさいと応じた。」

3人目—「主よ、あなたに従います。ただ、別れを告げさせてください。」「鋤に手を掛けてから、後ろをみてはいけない。」

*3人の志願者に対して、イエスはYES,NOを言ったのではなく、それぞれの課題を語ったのである。

3. まとめ

- ・帰って来た弟子たちに助言を与えた後、父なる神に感謝し、
- ・23節：それからイエスは、弟子たちの方を振り向いて、彼らだけに言われた。「あなたがたが見ているものを見る目は幸いです。」
- ・イエスを信じる私たちは幸いです。深く味わいたいものです。